



ちょっと挑戦

リコーダーで「もろびとこぞりて (Joy to the World)」を吹こう

リコーダー「もろびとこぞりて (Joy to the World)」のドレミ楽譜。音ごとの運指つき。

1719年にアイザック・ウォッツが書いたクリスマスの歌で、日本では「もろびとこぞりて」として親しまれています。最初のフレーズは、高いレから高いド#を通して低いレまで、音階をまっすぐ下ります。使う音は8つ：低いレ・低いミ・ファ#・ソ・ラ・シ・高いド#・高いレ。下に、リズムつきの音と、それぞれの運指があります。

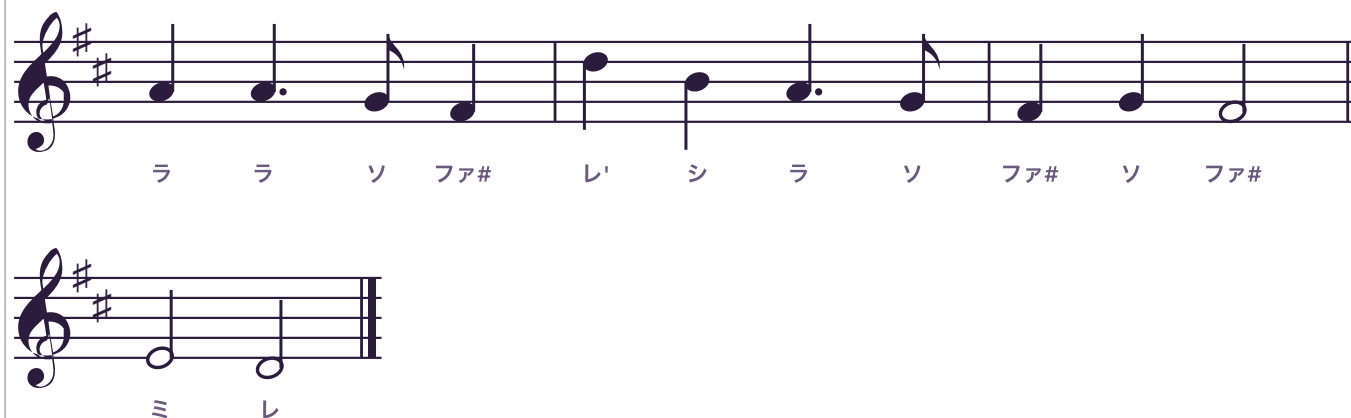
音



長いブロックほど長い音です。線は小節の区切りです。

五線譜





同じ曲を五線譜で。下に音の名前があります。

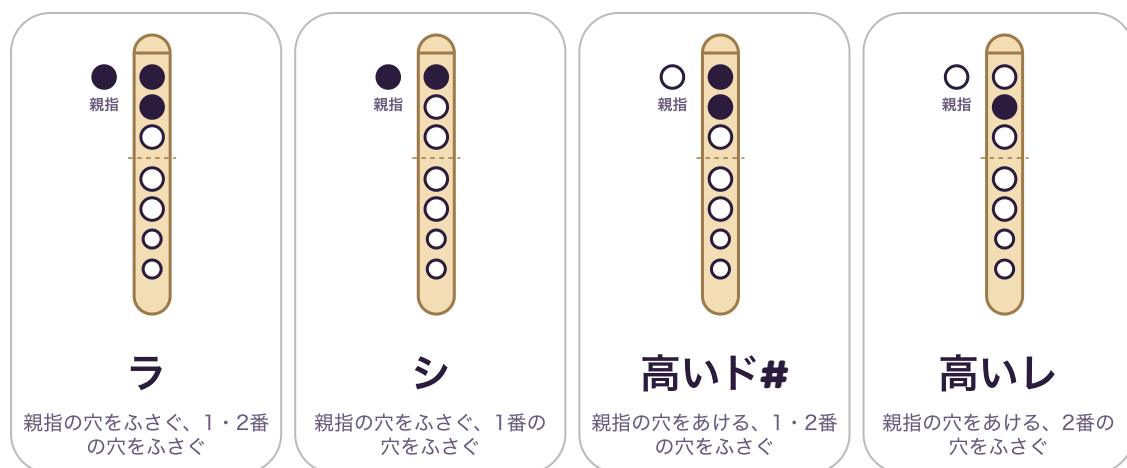
ドレミで書いた音

レ' ド#' シ ラ ソ ファ# ミ レ ラ シ シ ド#' ド#' レ' レ'
 レ' ド#' シ ラ ラ ソ ファ# レ' シ ラ ソ ファ# ソ ファ#
 ミ レ

「'」は高い音のしるしです：高いド#・高いレ。ソプラノリコーダー用です。

運指

<p>低いレ</p> <p>親指の穴をふさぐ、1・2・3・4・5・6番の穴をふさぐ</p>	<p>低いミ</p> <p>親指の穴をふさぐ、1・2・3・4・5番の穴をふさぐ</p>	<p>ファ#</p> <p>親指の穴をふさぐ、1・2・3・5・6・7番の穴をふさぐ</p>	<p>ソ</p> <p>親指の穴をふさぐ、1・2・3番の穴をふさぐ</p>
---	---	---	---------------------------------------



「再生」をタップすると音が聞けます。カードをタップすると吹き方が見られます。黒い穴はふさぎます。左手が上（親指は裏、1～3番の穴）、右手が下（4～7番の穴）です。

コツ

- 1つの音ごとに「トゥ」と舌をつかって吹きましょう（タンギング）。同じ音が続いても、1つずつはっきり聞こえます。
- スープをさますように、やさしく息を入れましょう。強すぎると、ピーッと1オクターブ上の音になります。
- 指先ではなく、指のはら（やわらかいところ）で穴をふさぎましょう。すき間から息がもれません。
- 低いレはいちばんやさしい息で、すべての穴をしっかりとふさぎます。ピーッと鳴ったら、まず下のほうの指を確かめましょう。
- ジャーマン式のリコーダーでは、ファ#は親指と1・2・3・5・6・7番の穴をふさぎ、4番をあけて吹きます。
- 高いレは親指の穴をあけて、2番の穴だけをふさぎます。左手の中指でささえます。
- 高いド#は、親指の穴をあけて、1・2番の穴をふさぎます。高いレに人さし指をたした形です。